

6月議会に係る記者会見

平成25年5月30日(木) 13:00～
ハイトピア伊賀5階 学習室2

1. 市長からの発表

・一般会計補正予算(第2号)について

平成25年度の一般会計補正予算第2号は、既定の予算額に、歳入歳出それぞれ8,104万2,000円を追加しまして、補正後の予算額を419億683万7,000円とするものです。

今回の補正は、国・県補助事業の追加・変更及び市単道路改良事業などについて所要額を補正しようとするものです。

また、街なみ環境整備事業の武家屋敷赤井邸整備工事につきまして、平成25・26度の2ヵ年で継続して工事を行う必要が生じたので、継続費を追加したほか、障がい者福祉計画策定業務において委託期間が2ヵ年にわたることから、平成25年度から26年度まで必要な債務負担行為を設定しています。

歳出補正の主な内容ですが、投資的経費では、9,243万9,000円の減額を行っています。主なものとして、しらさぎ運動公園整備事業について、平成25・26年度で継続費を設定し実施する予定でしたが、国の「日本経済再生に向けた緊急経済対策」により平成24年度の補正予算で前倒しして実施することとなったため、2億320万円を減額しています。

また、市役所北側の道路及び歩道の整備のため、蛇池上野公園線他1線道路改良事業6,195万円を追加するほか、国の補助金の増額分を主な財源として、上野西小学校校舎増築事業について4,881万1,000円を増額しています。

物件費では、全体で8,537万4,000円を増額していますが、緊急雇用創出事業6,600万円や、ため池のハザードマップ作成業務委託料1,312万5,000円、緊急風しん予防接種業務委託料480万円が主なものです。緊急雇用創出事業は起業支援型雇用創造事業で1事業600万円を上限として、中心市街地活性化に資する事業及び地域課題を解決する事業について11事業を公募する予定です。

補助費等では、全体で8,810万7,000円を増額していますが、財団法人自治総合センターからのコミュニティ助成金1,400万円や、国の「強い農業づくり交付金事業」では、伊賀米色彩選別機導入事業や伊賀米給袋機導入事業、イチゴ低コスト耐候性ハウス導入事業、これら3つの事業に対する補助金、合わせて6,985万円を計上しています。

これら一般会計の歳出の財源としまして、国県支出金、市債などの特定財源は、それぞれの事業費の変更に伴い所定の増減を行ったほか、一般財源では財政調整基金繰入金310万円を計上しています。

なお、今回、最も申し上げたい点は、感染症予防経費 緊急風しん予防接種業務委託料480万円増であります。風しんの感染が全国的に広がっているため、ワクチンの予防接種費用の助成を行うもので、助成対象は、平成2年4月1日以前に生まれた妊娠を希望する女性及び妊婦の夫等です。助成額は摂取費用の1/2ですが、上限4,000円です。

2. 6月議会提出議案について

議案第72号 三重県伊賀市一般会計補正予算(第2号)

市長からの発表のとおり

議案第73号 伊賀市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について

(担当課) 健康推進課

(提案理由)

平成24年5月に公布された「新型インフルエンザ等対策特別措置法」が本年4月13日に施行されたことに伴い、伊賀市新型インフルエンザ等対策本部を設置するための条例を制定する。

(改正内容)

新型インフルエンザ等緊急事態宣言が発表された場合、各自治体に設置される対策本部に関し必要な事項(組織、会議等)について規定する。

(施行期日) 公布の日から

議案第74号 伊賀市少子化対策推進委員会条例の一部改正について

(担当課) こども家庭課

(提案理由)

平成24年8月に公布された「子ども・子育て支援法」に基づき、子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関し必要な事項及び当該施策の実施状況を調査審議するため、本条例の一部を改正するもの

(改正内容)

- ・子ども・子育て支援事業計画等に関する規定を追加する。
- ・教育、保育両分野の関係者の意見を聴くため委員を3名増員し18名以内とする。

(施行期日) 公布の日から

議案第75号 伊賀市立上野総合市民病院事業の設置等に関する条例の一部改正について

(担当課) 市民病院庶務課

(提案理由)

上野総合市民病院に設置している事務長職の名称を変更し、当該役職が事務部のみではなく、病院全体の事務部門の長であることを明確にするため、副院長として位置づけ、病院改革を進めようとするもの

(改正内容)

- ・事務部門の副院長職を創設し、事務長職を廃止する。
- ・厚生労働省医政局長からの通知に基づき、「循環器科」を「循環器内科」に改める。

(施行期日) 平成25年7月1日

議案第76号 土地の取得について

(担当課) 建設1課

(提案理由)

市道ゆめが丘摺見線道路用地として土地を取得する。

取得土地 摺見字古野 642 番地 4 ほか 25 筆

取得地籍 21, 026. 11㎡

取得金額 41, 538, 769円

相手方 森永製菓株式会社

議案第77号 市道路線の廃止について

(担当課) 建設1課

(提案理由)

隣接する民間企業が事業拡大のため、道路周辺の土地を事業用地として取得し、当該道路が一般交通の用に供する必要がなくなったため、市道路線の廃止をするもの

整理番号 その他 7339 鉢屋団地線 延長 332m

議案第78号 専決処分の承認について(国民健康保険事業特別会計繰上充用)

(担当課) 保険年金課

(提案理由)

平成24年度の決算において歳入が不足した額を平成25年度の歳出予算として補正するもの。(地方自治法第179条第1項に基づく専決処分)

議案第79号 専決処分の承認について(住宅新築資金等貸付特別会計繰上充用)

(担当課) 同和課

(提案理由)

平成24年度の決算において歳入が不足した額を平25年度の歳出予算として補正するもの。(地方自治法第179条第1項に基づく専決処分)

3. 6月の行事等について

(1) 平成25年度「全国ごみ不法投棄監視ウィーク」

期間：5月30日(木)～6月5日(水)

内容：①不法投棄監視パトロール

②啓発活動

街頭啓発 6月1日(土) 11:00～12:00

問い合わせ先：環境政策課(20-9105)

(2) 男女共同参画フォーラム「いきいき未来いが2013」

日時：6月8日(土) 12:00～16:00 ※入場整理券必要(無料)

場所：ハイトピア伊賀5階 多目的大研修室

内容：講演 ～仕事も家庭も一生懸命！～出会いの人生から学んだこと

講師 菊地幸夫 弁護士

伊賀市男女共同参画ネットワーク協議会登録団体による展示・販売

問い合わせ先：伊賀市男女共同参画センター
(人権政策・男女共同参画課) (22-9632)

(3) 三重県内男女共同参画連携映画祭 2013「メリダとおそろしの森」

日時：6月15日(土) 開場 13:30 開演 14:00 上映 14:15～

※入場整理券必要(無料)

場所：ふるさと会館いが

問い合わせ先：伊賀市男女共同参画センター
(人権政策・男女共同参画課) (22-9632)

4. その他(主な質疑応答)

(記者) 一昨日開催された庁舎整備計画検討委員会で議論された「庁舎整備に関するアンケート」に関して、現在地での庁舎整備についての設問に対して、「南庁舎を解体して新庁舎を建てる」という項目がない。

このことについて、市長は南庁舎を保存すると訴えて当選されたという前提があるからと説明していたが、本来なら「南庁舎を解体して・・・」という選択肢があって調査するのが普通かと思うが、その点をもう一度説明していただきたい。

(市長) 今回の計画については、全くのゼロベースではないということをご承知おきいただきたい。アンケートはいろいろな意見を拾っていくことが大事である。

ご指摘の点は、その他の項目を設けており、たとえば、南庁舎を解体して新庁舎を建設というような記述を例示しています。

(記者) 市長が進めている街路樹の件について、地元から反対の声があると聞いているがどうか。

(市長) 意見は伺っているが、賛成いただいている方のほうが圧倒的に多いと思っています。商工会議所の会頭以下、まちづくりに参画されている方は賛成いただいていると思います。落ち葉とか、害虫とか、根上がりということは、前回の説明会ですべて実例をもって回答しており納得いただいていると思います。

街路樹、歩道の手入れについては、本来、県がすべきであるが、十分な管理がなされていないことも事実であり、地元の方が剪定や落ち葉を掃いたりしていただいています。今回は、そういうことを市の方で基本的にすることになりましたので、以前よりは地元の負担は少なくなると思います。

(記者) 議案第75号について詳しく説明をお願いします。

(市長) 事務長という職域と事務部長という職位が混同されており、本来あるべき地位として、院長、副院長という3役の中に規定をし直して病院の経営改善にしっかり取り組めるようにしました。

副院長は現在、空席になっていますが、今のまま副院長のポストに事務部長を

付けますと、医事・薬事のほうも担当となってしまいますので、副院長として医務担当と事務担当に分け、事務担当の副院長に事務長を据えることになりました。

（記者）風疹の予防接種は市独自の事業ですか。

（市長）風疹は昨年から流行しており緊急を要する案件です。県では今のところ対策しないと聞きましたので、少子高齢化の中、妊娠を希望される方をしっかり守っていかなければならないということからも、市の単独事業として実施したいと考えています。

（記者）他市の状況はどうですか。

（健康推進課長）県内では、予算を上程したのは伊賀市が初めてになるかと思えます。

（記者）混合ワクチンと単体ワクチンの両方に使えますか。

（健康推進課長）混合ワクチン、単体ワクチンの両方を助成対象としています。風疹の単体ワクチンは流通が少なく待っていただく必要があります。緊急性のことを考え、混合ワクチンを優先的に医師会へもお願いしていこうと思っています。

接種費用が 8,000 円から 1 万円の間と聞いており、半額程度助成したいと考えています。